

公の施設事業報告書

令和 6 年 5 月 21 日

下妻市長 様

所在地 埼玉県さいたま市中央区新都心 11 番地 2
さいたま新都心 L A タワー 30 F

名称	株式会社クリーン工房
代表者氏名	代表取締役 川鍋 大二郎
電話番号	048-601-545

下妻市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例第 11 条の規定により、次のとおり
令和 5 年度事業報告書を提出します。

- 1 公の施設の名称
 ピアスパークしもつま
- 2 管理業務の実施状況
 別紙のとおり
- 3 利用状況及び利用拒否等の件数・理由
 別紙のとおり
- 4 使用料又は利用料金の収入実績
 別紙のとおり
- 5 管理経費の収支状況
 別紙のとおり

2、管理業の実務状況

経営環境について

- ① ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエル・パレスチナ紛争や、大幅な円安の影響などによるエネルギー価格の上昇に伴う備品、消耗品、食材価格等材料価格の高騰。
- ② 前年度に続き原油・電気料金等エネルギー価格の高騰。
- ③ 施設各部門での人材不足に伴い、人材確保のための求人広告費等、また毎年10月に行われる最低賃金引上げによる人件費等のコスト増加。

上記、環境下での運営管理を行ってまいりましたが営業コスト増加の影響をもろに受けて、本年度の総売り上げは 154,715千円（指定管理料含む）となり、令和5年度の収支は、37,376千円の赤字となりました。

○施設の整理整頓・清掃の強化
○業務の見直し・改善・可視化
○目配り・気配り・心配りを常に意識
を目標に管理業務及び店舗運営を行いました。

【温泉部門】

前年度対比では入場者数・売上ともに微増となりましたが、新型コロナウイルス感染症流行以前と比較すると入場者数は8割程度となっており利用者回復の方策が必要となっております。今年度の入場者数と売上は、

総入場者数：118,341人 前年対比101%

年間売上高：63,302千円 前年対比104%

となりました。

主な取り組みといたしましては、夏季休暇期間から学生割引を行いました。

（7月21日～3月31日まで実施）

また、子供向けに夏休みイベントとして入場券3枚提示にてアイスクリームのプレゼントを行い、またキッズプールを中庭で行いました。（7/21～8/31）ファミリー層をターゲットにしたイベント実施に注力して営業を行いました。

【ホテル部門】

本年度もビジネス利用をターゲットに運営を行い特に平日の稼働率向上と売上の向上に取り組みましたが、昨年度に比べ微減となりました。

年間利用者数：6,475人 前年対比96%

年間売上高：53,910千円 前年対比95%

毎月第3土曜日に家族会の利用をいただきました。また少年団の合宿の受け入れを行いました。

年末大晦日にご宿泊のお客様に年越しそば（カップそば）のサービスを行いました。
また、ホテル朝食は内容の充実を図り、朝食お持ち帰り希望の方には
テイクアウト容器にて対応し、サービス向上に努めました。

【レストラン】

本年度は人材不足等の理由により休業中になりましたが、宿泊者用の朝食会場として運営いたしました。人材確保が出来次第、徐々に運営再開を予定しておりました。

（平日：夜のみの営業。土日祝日：終日営業。等から徐々に再開予定でした。）

年間利用者数：159人

年間売上高：229千円

【売店部門】

売店部門は、利用人数及び売上高ともに微減となりました。

年間利用者数：63.941人 前年対比95%

年間売上高：15.523千円 前年対比95%

繁忙期となる12月、1月、2月、3月の売上が低迷したため、年間を通して約5%減となりました。茨城・下妻をアピールした商品で売り上げの向上を目指しましたが効果が薄かったようです。

【総括】

令和5年度は温泉部門こそ売上・利用人数が微増となりましたが、その他の部門は全て前年対比減となりました。

全体的に約8割程度の売上にとどまりました。特にレストラン部門の落ち込みが大きく響いた形となりました。

夏の8月に風呂上がりのビールとして、フロント横で下妻生ビールを販売しました。

また、夏に大きなイベントとして、8月19日・20日に「肉祭り」を開催いたしました。

下妻の地ビール「しもつま生ビール」やビールに合う肉料理の屋台を集め、

お肉選手権も行うなどして会場を盛り上げました。

ダンスパフォーマンス、ライブ等も開催して大いに盛り上がりました。

3、利用状況及び利用拒否権の件数・理由

(1)

各売場	利用者数
温泉利用	118,341人
ホテル利用	6,475人
会議利用	3,255人
レストラン	159人
大広間	0人
農産物直売所	63,941人
体験農園	0人
バーベキュー	692人

(2)利用拒否等の件数

拒否件数 0 件

4、使用料又は利用料金の収入実績（消費税及び入湯税を含む）

（単位：千円）

温泉部門	63,230
ホテル部門	53,910
飲食部門	229
売店部門	15,523
加工体験部門	0
バーベキュー部門	104
会議室利用	354
温泉販売	1,210
その他	10,155
合計	144,715

5、管理経費の収支状況

公の施設に係る収支状況報告書（令和5年度）

（単位：千円）

科目		
収 入	ピアスパーク売上高	144,715
	指定管理料及び見舞金	10,000
	収入合計	154,715
支 出	売上原価	25,475
	販売費及び一般管理費	166,616
	販 人件費	51,150
	売 販促・広告宣伝費	3,986
	費 水光熱費	54,926
	及 備品・消耗品費	4,638
	び 保守修繕費	4,962
	一 リース料	853
	般 租税公課	27,714
	管 通信費	966
	理 支払手数料	0
	費 車両修繕	693
	内 外注費	9,811
	訳 クリーニングリネン	6,917
	支出合計	192,091
収支		-37,376